

2011年第2四半期決算説明会

株式会社ブリヂストン

2011年8月8日

目次

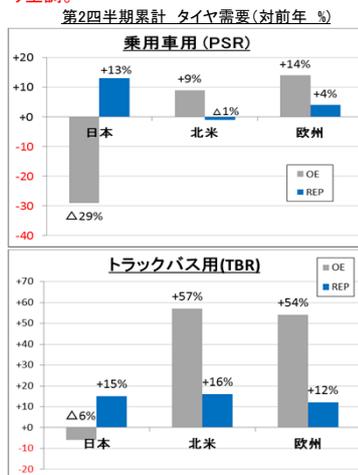
- 2011年第2四半期累計業績
- 2011年通期業績見通し
- APPENDIX

2011年第2四半期累計業績

事業環境概要

◆ タイヤ需要

新興国における需要増を背景にグローバルに需要伸長。成熟国の補修用は、以下の通り堅調。



※需要数値は当社推定。

◆ 為替

	2010年 上期	2010年 下期	2011年 上期
USドル	91円	84円	82円
ユーロ	121円	112円	115円

- > USドル、ユーロともに対前年同期比円高。
- > 他通貨を含めた全体では、当初計画通りで推移。

◆ 原材料

相場動向（平均価格）推移

	2010年 上期	2010年 下期	2011年 上期
天然ゴム <RSS#3>* (¢/kg)	347	385	549
原油 <WTI> (\$/bbl)	78	81	98

*source : Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格参照

- > 天然ゴム、原油ともに高値で推移。

東日本大震災の影響

生産影響



販売影響

◆**タイヤ事業**

新車メーカーは、生産再開するも上期はフル稼働には至らず、新車メーカー向けタイヤ販売が減少。

国内の補修用タイヤや輸出向けに振り向けて対応

また、復興に必要な物資であるTBR、OR等の生産財を優先供給。

◆**多角化事業**

新車メーカー向け商品(防振ゴム、シート等)やスポーツ事業の販売が減少。

◆**震災関連 特別損失**: 24億円を第2四半期末までに計上。(建屋や設備の修繕及び復旧費用、棚卸資産・固定資産の廃棄費用 等)

(注) PSR:乗用車用タイヤ、TBR:トラック・バス用タイヤ、AP:航空機用タイヤ、AG:農業機械用タイヤ、MC:二輪車用タイヤ

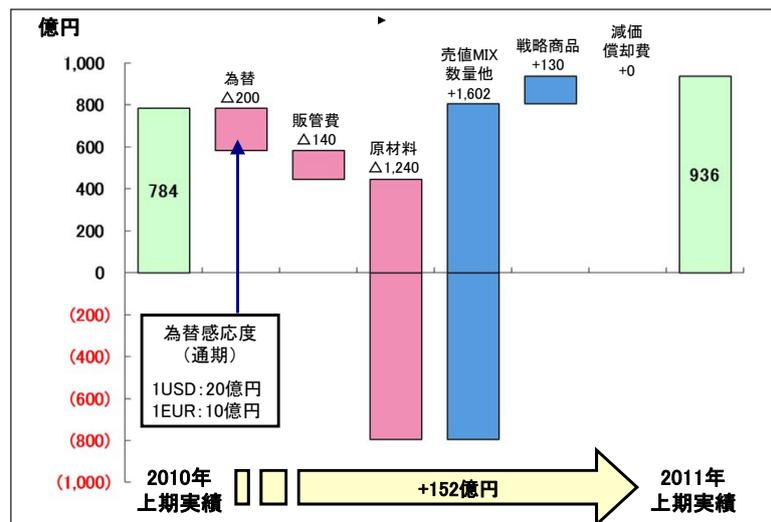
第2四半期累計業績のポイント

連結全体業績	<前年同期比較> 数量増・売値改善・体質強化他 > 為替円高・原材料価格高騰
所在地別業績	日本は、為替円高・原材料価格高騰を数量増・売値改善でカバーできず増収減益。日本以外は、増収増益。
事業基盤の強化	新興国を始めとする需要拡大を取り込むための生産能力増強を着実に実施。
貸借対照表・キャッシュフロー	原材料価格高騰などにより、運転資本増加。 ⇒ 営業キャッシュフローを圧迫。

連結業績概要

	2010年 第2四半期 累計実績	2011年 第2四半期 累計実績		増減(%)	参考 【'11/5/13発表】
		2011年 第2四半期 累計実績	増減(%)		
売上高	13,859	14,591	+5		14,800
タイヤ部門	11,470	12,212	+6		
多角化部門	2,442	2,451	-		
営業利益	784	936	+19		720
タイヤ部門	706	897	+27		
多角化部門	78	38	△51		
経常利益	679	918	+35		640
四半期純利益	445	541	+22		350
USDドル	91円	82円	△9円		83円
ユーロ	121円	115円	△6円		114円

営業利益増減要因（対前年同期比）



所在地別セグメント業績概要

(単位:億円)

売上高	2010年第2四半期 累計実績	2011年第2四半期 累計実績	増減(%)
連結	13,859	14,591	+5
日本	5,463	5,757	+5
米州	6,078	6,325	+4
欧州	1,882	2,067	+10
その他	2,966	3,473	+17

営業利益	2010年第2四半期 累計実績	2011年第2四半期 累計実績	増減(%)
連結	784	936	+19
日本	295	275	△7
米州	247	370	+50
欧州	24	53	+114
その他	239	262	+10

貸借対照表ハイライト

	2011年第2四半期末 実績	
		対前年末
総投下資本残高(億円)	27,853	+787
(内) 流動資産(億円)	13,425	+656
固定資産(億円)	14,427	+130
純資産(億円)	12,596	+835
自己資本比率(%)	43.9	+1.7
有利子負債<ネット>(億円)	5,515	+1,053
	2011年第2四半期 累計実績	
		対前年同期
設備投資(億円)	733	△39
減価償却費(億円)	780	△36
ROA(%)	3.9	+0.6

2011年通期業績見通し

事業環境見通し

◆ タイヤ需要

2011年 新車用タイヤ需要年間見通し

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	86%	113%
北米	108%	132%
欧州	106%	120%

2011年 補修用タイヤ需要年間見通し

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	101%	106%
北米	99%	105%
欧州	98%	104%
タイ	102%	112%
インドネシア	106%	121%
インド	115%	125%
中国	120%	116%

※需要数値は当社推定。

◆ 為替

	2011年 上期	2011年 下期	2011年 通期	MTP 2010
USドル	82円	80円	81円	95円
ユーロ	115円	115円	115円	120円

- > 円高継続。
- > MTP2010対比円高。

◆ 原材料



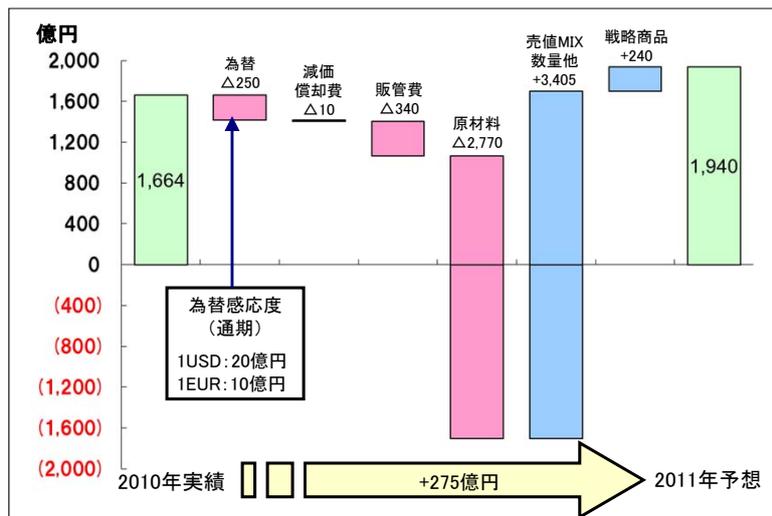
- > 原材料価格の見通しは不透明。

連結業績予想

	2010年 通期実績	2011年 通期予想		2011年 通期予想
			増減(%)	
売上高	28,616	31,300	+9	31,900
タイヤ部門	23,795	26,400	+11	
多角化部門	4,946	5,000	+1	
営業利益	1,664	1,940	+17	1,670
タイヤ部門	1,531	1,840	+20	
多角化部門	133	100	△25	
経常利益	1,479	1,800	+22	1,510
当期純利益	989	1,150	+16	940
	USドル	88円	81円	△7円
	ユーロ	116円	115円	△1円

参考
【'11/5/13発表】

営業利益増減要因予想 (対前年同期比)



所在地別セグメント業績予想

(単位:億円)

売上高	2010年 通期実績	2011年 通期予想	増減(%)
連結	28,616	31,300	+9
日本	11,546	12,500	+8
米州	12,239	13,300	+9
欧州	3,838	4,300	+12
その他	6,119	7,200	+18

営業利益	2010年 通期実績	2011年 通期予想	増減(%)
連結	1,664	1,940	+17
日本	616	730	+18
米州	483	620	+28
欧州	71	100	+40
その他	449	540	+20

配当金

(1株当たり配当金)

	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 予想
中間配当金	8円	10円	(*)10円
期末配当金	8円	10円	10円
年間合計	16円	20円	20円

(*) 2011年9月1日支払予定

中期経営計画2010(MTP2010)の進捗状況

「2012年 ROA6%」達成に向けた取り組み

- ◆ 中計施策の着実な実行
- ◆ 原材料価格変動へのタイムリーな対応

営業利益増加要素	MTP2010 2009年⇒2012年 増加額	2009⇒2011年 進捗予想	進捗率
戦略商品拡大	+650億円	+540億円	83%
合理化努力	+400億円	+330億円	83%
多角化事業	+450億円	+140億円	31%
数量ほか	+550億円	+160億円	29%

APPENDIX

主要市場での補修用タイヤ値上げ状況

地域	年月	対象品目	%
日本	2011年3月	TBR	平均7%
	2011年6月	PSR	平均8%
	2011年9月	TBR	平均10%
北米	2010年1月	PSR	最大5%
	2010年6月	PSR	最大6%
	2010年7月	TBR	最大6%
	2010年11月	PSR/TBR	最大8%
	2011年2月	TBR	12%
	2011年4月	PSR	最大8%
	2011年7月	TBR	平均11%
欧州	2010年4月	PSR/TBR	3%~5%
	2010年10月	PSR/TBR	3%~6%
	2011年1~3月	PSR/TBR	平均6%
	2011年4~6月	PSR/TBR	平均7%
	2011年7~9月	PSR/TBR	PSR5%、TBR12% (いずれも平均)

PSR: 乗用車用タイヤ
TBR: トラック・バス用タイヤ

※表中には主要品目であるPSR、TBRのみ記載
※ブリヂストンブランドのみ

新興国での新工場建設・既存工場の増産

地域	対象工場	対象タイヤ	増産量/日	完了予定時期
タイ	バンケー工場	PSR	+13,500本	2014年中
	チョンプリ工場	TBR	+2,500本	2014年上期
インドネシア	カラワン工場	PSR	+3,000本	2012年上期
インド	インドール工場	TBR	+400本	2012年下期
	プネ工場	PSR	+10,000本	2020年末 *1
TBR		+3,000本	2020年末 *2	
中国	無錫工場	PSR	+4,200本	2011年下期
		PSR	+4,100本	2013年上期
	天津工場	PSR	+8,800本	2014年上期

(*1 2013年上期生産開始予定)

(*2 2013年下期生産開始予定)

PSR: 乗用車用タイヤ
TBR: トラック・バス用タイヤ



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。